

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成28年5月17日(火) 11:00～12:00

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

### 発表事項

1. 山形大学発のプリントドエレクトロニクス技術を事業展開するベンチャー企業設立について
2. 山形大学都市・地域学研究所及び大学院社会文化システム研究科と大石田町との連携事業について
3. 特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯(ともしび)に」ー高校生朗読コンクール 出場者・群読劇出演者を募集ー
4. 平成28年度奥の細道マイスター養成講座について
5. テニス東北学生春季トーナメント大会で本学学生が2連覇を達成しました

### お知らせ

1. 第4回学長特別講演会シリーズ「山形から世界へ」を開催します
2. 「G7茨城・つくば科学技術大臣会合 特別展」に出展します
3. 「山形大学安達峰一郎研究プロジェクト」成果報告シンポジウムー世界の良心 安達峰一郎ーについて
4. クラゲマイスター養成講座(初級)／スライムマイスター養成講座(初級)のご案内
5. 公開講座「映画・写真・絵画・文学におけるドキュメンタリーとフィクション」のご案内
6. 山形大学都市・地域学研究所15周年記念講演・祝賀会について
7. 大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」の開催
8. 「こうかいどおうひたくほん広開土王碑拓本」の特集展示を開催します

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成28年6月7日(火)11:00～11:45

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

## 学長定例記者会見(5月17日)発表者

1. 山形大学発のプリントエレクトロニクス技術を事業展開するベンチャー企業設立について

有機エレクトロニクス研究センター長 時<sup>とき</sup>任<sup>とう</sup> 静<sup>しず</sup>士<sup>お</sup>  
学術研究院 熊<sup>くま</sup>木<sup>き</sup> 大<sup>だい</sup>介<sup>すけ</sup> 准教授(大学院理工学研究科担当)

2. 山形大学都市・地域学研究所及び大学院社会文化システム研究科と大石田町との連携事業について

大学院社会文化システム研究科長 清<sup>きよ</sup>塚<sup>づか</sup> 邦<sup>くに</sup>彦<sup>ひこ</sup>  
学術研究院 松<sup>まつ</sup>尾<sup>お</sup> 剛<sup>けん</sup>次<sup>じ</sup> 教授(人文学部担当)  
大石田町 町長 庄<sup>しょう</sup>司<sup>じ</sup> 喜<sup>き</sup>與<sup>よ</sup>太<sup>た</sup>

3. 特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯(ともしび)に」—高校生朗読コンクール 出場者・群読劇出演者を募集—

学術研究院 山<sup>やま</sup>本<sup>もと</sup> 陽<sup>はる</sup>史<sup>ふみ</sup> 教授(基盤教育担当)  
地域教育文化学部 4年 犬<sup>いぬ</sup>飼<sup>かい</sup> 和<sup>やま</sup>

4. 平成28年度奥の細道マイスター養成講座について

学術研究院 山<sup>やま</sup>本<sup>もと</sup> 陽<sup>はる</sup>史<sup>ふみ</sup> 教授(基盤教育担当)

5. テニス東北学生春季トーナメント大会で本学学生が2連覇を達成しました

地域教育文化学部2年 清<sup>しみず</sup>水<sup>みづ</sup> 優<sup>ゆう</sup>

# プレス発表資料

平成28年5月17日  
山形大学  
科学技術振興機構(JST)

## 山形大学発のプリントドエレクトロニクス技術を 事業展開するベンチャー企業設立

山形大学有機エレクトロニクス研究センター(ROEL)の時任静士教授と熊木大介准教授らは、科学技術振興機構(JST)の研究成果展開事業大学発新産業創出プログラム(START)の支援により得られたプリントドエレクトロニクス<sup>注1)</sup>に関する研究開発成果をもとに、微細な印刷半導体回路<sup>注2)</sup>を実現する銀ナノ粒子インク<sup>注3)</sup>の開発・販売や、その応用製品であるフィルム型のセンサデバイスを試作・開発する「株式会社フューチャーインク」を設立しました。株式会社フューチャーインクでは、高性能な印刷半導体回路を形成する技術をコアテクノロジーとして、ヘルスケアセンサを始めとした高付加価値なプリントドデバイス<sup>注4)</sup>をより低コストで提供することで、だれもが快適で暮らしやすい社会の実現を目指します。

### 1. 企業概要

社名:株式会社フューチャーインク(Future Ink Corporation)

設立日:平成28年4月1日

所在地:山形県米沢市城南4-3-16(山形大学工学部キャンパス内)

資本金:1,000万円

役員:代表取締役社長 時任静士、取締役副社長 熊木大介、他4名

事業内容:

株式会社フューチャーインクは、山形大学有機エレクトロニクス研究センターのプリントドエレクトロニクスに関する材料技術、プロセス技術、デバイス技術を事業展開し、高性能な印刷半導体回路を実現する「銀ナノ粒子インクの製造・販売」やこれを応用したヘルスケアや医療応用等に向けた「プリントドデバイスの試作・販売」を行っていきます。(図1参照)

プリントドデバイスは、薄いフィルム上に印刷プロセスで形成された電子デバイスで、人に貼って使うことや衣服として装着した際にも違和感が無いフィルム型のセンサデバイスを実現できるため、ヘルスケアや医療分野において今後ニーズが大きく拡大すると期待されています。

一般的に、センサの制御やセンサで得られた信号を処理して無線で情報送信するには、薄膜トランジスタ(TFT)<sup>注2)</sup>を多数組み込んだ半導体回路が不可欠となります。しかしながら、これまでのプリントドエレクトロニクス技術では、そのように複雑な印刷半導体回路を形成することが困難でした。

株式会社フューチャーインクでは、「低温」、「10 $\mu$ m以下の微細な線幅」、「高い歩留り」で半導体回路を形成できる優れた特徴をもつ銀ナノ粒子インクの開発に成功しています。また、ロール・ツー・ロール<sup>注5)</sup>印刷プロセスを使った大規模な半導体回路やセンサデバイスの製造技術の開発も進めており、プリントドエレクトロニクスの中でも特に、高性能な印刷半導体回路を形成する技術に強みを持っています。

この印刷半導体回路を中心としたプリントドデバイスの事業化を進めて、ヘルスケアセンサや大面積シート型センサ(図2参照)、電子ペーパーといった、高付加価値の新しい電子デバイス市場の開拓を目指します。

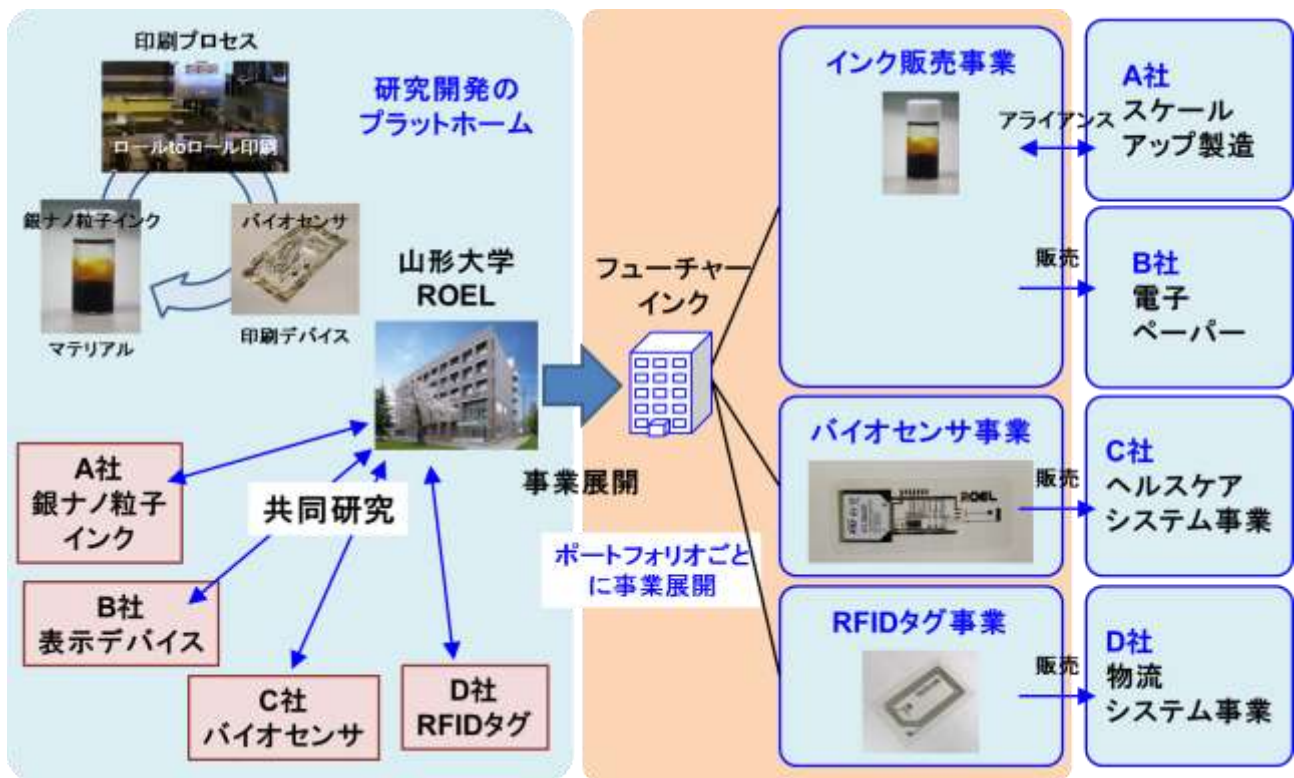


図1 株式会社フューチャーインクの事業イメージ

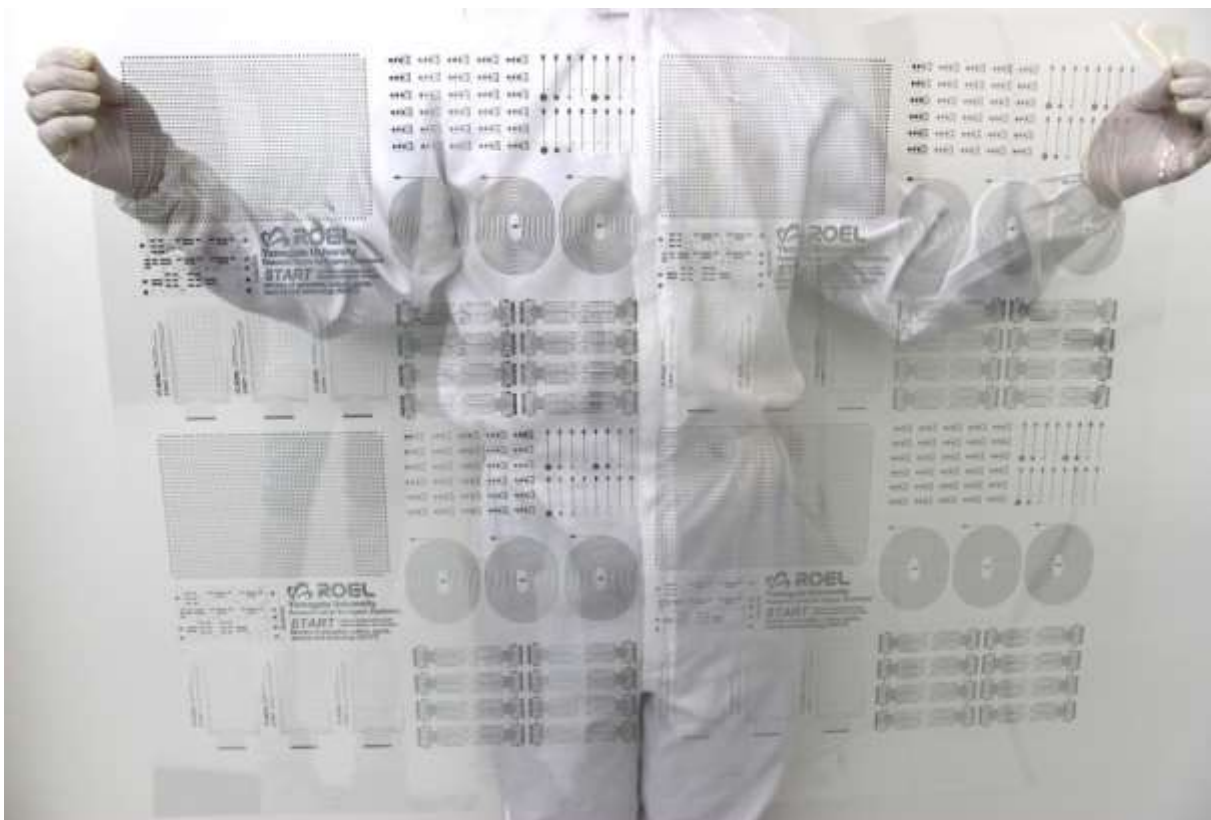


図2 90cm×60cmのPETフィルム上に、ロール・ツー・ロール方式のインクジェット印刷装置で試作した大面積印刷回路(東レエンジニアリング株式会社との共同開発)



## 2. 研究開発の内容

山形大学有機エレクトロニクス研究センター(ROEL)の時任教授、熊木准教授の研究グループでは、全て印刷プロセスで形成したTFT回路の高性能化や、ロール・ツー・ロール方式のインクジェット印刷装置による大面積TFT回路の試作、タンパク質、アミノ酸、糖質などの生体を構成する材料を電氣的にセンシングする有機TFT型バイオセンサの開発など、プリントエレクトロニクスに関連した、材料、デバイス、プロセス技術を網羅する研究開発を進めています。

特にSTARTでは、印刷半導体回路の高性能化にフォーカスし、微細な配線を形成する印刷装置に適用可能な銀ナノ粒子インクの開発や、大規模な印刷装置に適用できる量への銀ナノ粒子インクの製造スケールアップ、それをを用いたロール・ツー・ロール印刷プロセス開発に関する研究を進めてきました。

その結果、従来の技術では難しかった銀ナノ粒子インクの表面エネルギー<sup>注6)</sup>制御に成功し、従来のインクジェット印刷では難しかった線幅10 $\mu$ mよりも微細な配線を形成することに成功しました。また、銀ナノ粒子インクの製造量について、合成プロセスの最適化等により、ラボスケール(1g)からロール・ツー・ロールインクジェット印刷装置などが扱えるスケール(50g)へのスケールアップも達成しています。さらに、開発した銀ナノ粒子インクを用いて作製したTFTにおいて、センサを十分に駆動できる1cm<sup>2</sup>/Vsのホール移動度<sup>注7)</sup>が得られており、本技術で得られるTFTが実用に耐えることを確認いたしました。これらの研究開発成果については、銀ナノ粒子インクに関する特許をはじめとして、フレキシブルデバイス<sup>注8)</sup>で重要となる電極密着性の向上技術に関する特許なども権利化しています。

### <山形大学有機エレクトロニクス研究センター(ROEL)について>

山形大学では、有機エレクトロニクス、プリントエレクトロニクス、フレキシブルエレクトロニクスといった次世代エレクトロニクスをコアとする研究開発拠点事業を推進しています。拠点の中核となる有機エレクトロニクス研究センター(ROEL)では、次世代エレクトロニクスの開発を目的とする共同研究企業が50社以上集積していると同時に、数多くの海外研究機関とも連携しており、プリントエレクトロニクスの世界的な研究拠点の一つとして注目されています。

今回の企業の設立は、以下の事業の研究開発成果によるものです。

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム(START)

プロジェクト名:「微細印刷集積回路に向けた高精細、高機能な銀ナノ粒子インクの開発、製造・販売」

研究代表者:熊木大介(山形大学 有機材料システム研究科 准教授)

事業プロモーターユニット:東北イノベーションキャピタル株式会社

研究開発期間:平成25~27年度

STARTでは大学等の革新的技術の研究開発支援と、民間の事業化ノウハウを持った人材(事業プロモーター)ユニットを活用した事業育成を一体的に行い、企業価値の高い大学発ベンチャーの創出を目指しています(詳細情報:<http://www.jst.go.jp/start/>)。

STARTは平成24年度に大学発新産業創出拠点プロジェクトとして文部科学省により創設され、平成27年度からJSTに大学発新産業創出プログラムとして移管されました。

### <用語解説>

#### 注1) プリントエレクトロニクス

印刷プロセスを用いて電子回路を形成する研究分野の総称で、とくに小型・薄膜状の電子デバイスを大量に低コストで製造できる技術が産業的に非常に注目されています。

#### 注2) 印刷半導体回路、薄膜トランジスタ(TFT)

印刷プロセスを使って形成された半導体回路で、センサの信号増幅回路や表示素子の駆動回路などに応用できます。半導体回路は、数百~数万個の薄膜トランジスタ(Thin Film Transistor:TFT)で構成されています。TFTは複数の電極層や半導体層、絶縁層から成る積層構造であるため、印刷プロセスを使って高性能な半導体回路を形成するには、高精度な塗り分け(パターニング)など非常に高度な技術が必要とされます。

#### 注3) 銀ナノ粒子インク

数ナノから数十ナノメートルの銀粒子を溶媒に分散させたインクで、印刷して配線を形成できる電極材料です。

注4) プリントデバイス

印刷プロセスを使って作製された電子回路や電子デバイスを指します。

注5) ロール・ツー・ロール

ロール状に巻いたフィルムを巻き送り出しながら任意の加工(インクジェット印刷など)を施し、再びロール状に巻き取るプロセスです。低コスト化を実現できるフレキシブルデバイスの究極的な製造技術として期待されています。

注6) 表面エネルギー

固体表面(基板)に対する液体(インク)の濡れ広がりやすさの指標となる物性値です。銀ナノ粒子インクを濡れ広がりにくいインク特性に改良することで、より微細な配線を形成することが可能となります。

注7) ホール移動度

移動度は電荷(電子またはホール)が物質中を移動する際の移動のしやすさを表す物性値で、単位電場(V/cm)当たりの電荷の移動速度(cm/s)で表現し、半導体材料の電気的特性の優劣を示します。電子移動度とホール移動度の2種類ありますが、有機半導体を使った有機トランジスタでは、一般にホール移動度の方が高い移動度を示します。

注8) フレキシブルデバイス

柔らかく、曲げることができる電子回路や電子デバイスを指します。従来の硬い電子デバイスでは作れなかった円筒状に丸められる電子回路や、衣服にセンサ機能をもった電子デバイスなどが次世代技術として注目されています。

<本件お問い合わせ先>

<株式会社フューチャーインクに関すること>

株式会社フューチャーインク

担当:熊木大介

TEL: 0238-26-3290、FAX: 0238-26-3788

E-Mail: d\_kumaki@yz.yamagata-u.ac.jp

<START事業に関すること>

科学技術振興機構 産学連携展開部 START事業グループ

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's五番町

担当:松村郷史、東出学信

Tel: 03-5214-7054、Fax: 03-3238-5373

E-mail: start@jst.go.jp

<報道担当>

山形大学 総務部総務課(広報室)

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

担当:菅井久美子

TEL:023-628-4008、FAX:023-628-4013

E-mail: koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

Tel: 03-5214-8404、Fax: 03-5214-8432

E-mail: jstkoho@jst.go.jp

平成28年5月17日  
山形大学

## 山形大学都市・地域学研究所及び大学院社会文化システム研究科と 大石田町との連携事業について

山形大学都市・地域学研究所及び大学院社会文化システム研究科では、地域活性化のために、平成28年度より大石田町との連携事業を実施することとなりました。

今年度は、都市・地域学研究所の事業のうち、寺子屋子ども大学と公開講座の2事業を、また、大学院社会文化システム研究科では、課題解決型の授業を大石田町と連携して取り組みます。

### (1) 目的・経緯

学術研究院教授松尾剛次が、昨年度から大石田町の大石田町まち・ひと・しごと創成有識者会議委員長を務め、地域創生に協力しています。今年度からは、山形大学都市・地域学研究所と大学院社会文化システム研究科とも連携し、地域活性化のために様々な活動を行うことになりました。

### (2) 都市・地域学研究所との連携事業

#### 寺子屋子ども大学「トムソーヤの冒険in最上川」

これまで、寺子屋子ども大学では、大学キャンパス内で子供向けの科学実験や音楽教室など楽しい学習企画を実施してきました。今回は、福島県からの避難家庭及び山形市内の一般家庭の小・中・高校生を対象に大石田町の大自然の中で最上川下りを体験していただく企画です。

開催日：平成28年7月24日（日）

※詳細は別紙をご覧ください。

#### 公開講座「山形の魅力再発見パート14」

「山形の魅力再発見」として、山形の歴史や文化にスポットをあて、毎年公開講座を行っておりますが、今年は大石田町の魅力を再発見する社寺巡礼（大石田町乗船寺～町内散策）を盛り込みました。

開催日：平成28年9月3日（土）、17日（土）、10月1日（土）

※詳細は別紙をご覧ください。

### (3) 大学院社会文化システム研究科との連携事業

#### プロジェクト演習Ⅲ（大石田町旧鷹巣小学校）

旧鷹巣小学校に保存されている民具類の整理、調査を学生と共に行います。

担当：松尾剛次、十川陽一

日程：平成28年8月12日（金）、13日（土）、9月7日（水）、8日（木）

#### （お問合せ先）

- ・都市・地域学研究所との連携事業について

山形大学都市・文化研究所 太田・結城

電話 023-628-4871

- ・大学院社会文化システム研究科との連携事業について

学術研究院 教授 松尾剛次（人文学担当）

電話 023-628-4917

寺子屋子ども大学特別授業 夏休み特別企画

「トムソーヤの冒険 in 最上川」

～ゴムボートに乗って最上川を下ってみよう～



- 日 時 平成 28 年 7 月 24 日 (日) 終日
- 行 程 山形大学集合 (7:50) ⇒ 川端船着き場 (9:30) 事前説明後舟下り ⇒ 川前船着き場 (12:00)  
⇒ あったまりランド深掘り (12:10) 着替え・入浴・昼食 ⇒ 山形大学到着・解散 (15:00)  
※大石田町マイクロバス (26 名乗り) にて移動
- 参加対象 福島県からの避難家庭および山形市内一般家庭の小・中・高生 (小学 4 年生以上)
- 参加人数 募集定員 20 名、同行スタッフ 5 名
- 参加費用 500 円 (保険料、昼食代)
- 備 考
  - ・ 5/18～申込み受付開始 先着 20 名 (定員になり次第〆切)
  - ・ 雨天時は大石田町めぐりイベントへ変更 (大石田町資料館とスイカオーナー収穫イベント)
  - ・ 大石田「遊 be 隊」協力の下、全員がライフジャケットを装着し、陸上と水上から監視指導をし、安全対策を行う
- 主 催 寺子屋子ども大学 代表 松尾剛次
- 連 携 大石田町まちづくり推進課



2016年度 山形大学都市・地域学研究所

NPO法人山形の魅力再発見プロジェクト・大石田町 共催 公開講座

# 山形の魅力再発見パート④



大石田町 乗船寺

**9月3日(土)**

13:00~16:10

山形大学人文学部1号館 102 教室

**東北の義経伝説と奥浄瑠璃—『奥の細道』を出発点にして**

**全3日 5講座**

都市・地域学研究所 所員 人文学部准教授 宮腰 直人

**「古代の出羽—山形県域を中心に—」**

都市・地域学研究所 所員 人文学部准教授 十川 陽一

**9月17日(土)**

9:00~16:00 昼食:大石田蕎麦付き

集合場所 山形大学小白川キャンパス

**社寺巡礼 山形県大石田町乗船寺~町内散策**

都市・地域学研究所 所長 人文学部教授 松尾 剛次

**10月1日(土)**

13:00~16:10

山形大学人文学部1号館 102 教室

**「地震・雷・火事・親爺」**

都市・地域学研究所 所員 農学部教授 野堀 嘉裕

**方言研究史と山形方言**

都市・地域学研究所 事務局長 人文学部准教授 中澤 信幸

<申込締切>

8月19日(金)

<受講料>

7,000円(1日のみは3,500円)

9月17日昼食付・バス代は掛かりません

<募集人員> 25名

<問い合わせ・申込先>

〒990-8560

山形市小白川町1-4-12

山形大学都市・地域学研究所

(TEL/FAX) 023-628-4871 (午前)

E-mail:

kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp

[賛助会員] 山形建設(株), (株)シェルター, (株)荘内銀行, 寶光院, (株)山形銀行, 山形パナソニック(株), トヨタカローラ(株), 弘栄設備工業(株), (株)三陽製作所, (株)きらやか銀行, 坂部印刷(株), 安国寺, 香道 大枝流主宰 三品隆昭, (株)カキザキ 山形国際ホテル



平成28年5月17日

山形大学

特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」

－高校生朗読コンクール出場者・群読劇出演者を募集－

第9回山形大学高校生朗読コンクールへの出場者及び群読劇「恩讐の彼方に」への出演者を募集します。

## ◆高校生朗読コンクール・群読劇開催概要

日時：平成28年10月9日（日） 13時～17時（時刻は予定です）

場所：遊学館（山形県生涯学習センター）ホール（山形市緑町一丁目2-36）

### 第1部 第9回山形大学高校生朗読コンクール

参加資格：東北6県の高校に在籍する高校生

録音による予選審査を経て、10名程度が本選に出場予定。

予選朗読課題文：浜田廣介著 「まぼろしの鳥」全文

※本戦は浜田廣介の別の作品を出場者に割り当てます。

### 第2部 群読劇「恩讐の彼方に」上演

出演：一般市民（公募）20名程度・山形大学学生

上演作品：菊池寛著「恩讐の彼方に」

※基盤教育「舞台をつくる2016」の受講生を中心に山形大学学生が企画運営にかかわります。

## ◆背景

山形大学では平成20年度から高校生朗読コンクールを主催してきました。平成24年度からは特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」の一環として、高校生朗読コンクールと同時に群読劇を開催しています。

昨年度は、一般市民、山形の子どもたち、山形大学学生が出演する群読劇「ビルマの豎琴」を同時開催しました。朗読コンクールには東北6県の高校から74人の応募があり、群読劇では、俳優の磯部勉さん、女優の大西多摩恵さんとともに40人のメンバーがステージで熱演しました。

今年度は、菊池寛の名作「恩讐の彼方に」を題材とした群読劇を山形大学学生と一般市民の皆様の参加を得て上演します。

### （お問合せ先）

山形大学 エンrollment・マネジメント部 社会連携課  
電話：023-628-4016

山形大学特別プロジェクト  
「いま、言葉を東北の灯に」

## 出場者募集

第9回山形大学高校生朗読コンクール  
予選課題

『浜田廣介童話集』から「まぼろしの鳥」

第9回を迎える山形大学高校生朗読コンクール、  
今年も予選・本選とも山形県高畠町出身の浜田  
廣介の作品を取り上げます。

予選課題文は短編童話「まぼろしの鳥」です。  
東日本大震災から5年を経た本年、東北の「心」  
をすぐれた作品を味わいながら考える機会とした  
いと考えています。

東北地方の多くの高校生の応募をお待ちして  
おります。

## 東北6県の高中生から出場者を募集します

山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯に」  
第9回山形大学高校生朗読コンクール  
『浜田廣介童話集』から「まぼろしの鳥」

平成28年10月9日(日) 13:00~17:00

主催：国立大学法人山形大学

**応募資格** 東北6県(青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島)在住の  
高校生、または各県内の高校に在学中の高校生。  
※高等専門学校生は1年生から3年生までとします。  
同一高校からの応募人数制限は設けません。

**予選課題** 浜田廣介「まぼろしの鳥」全文  
(ハルキ文庫版『浜田廣介童話集』150~152頁)

**応募締切** 平成28年7月28日(木)(当日必着)

# 第9回山形大学高校生朗読コンクール

平成28年10月9日(日) 13:00~17:00

## 東北6県の高校生から出場者を募集します

### ◎ 予選募集要項

**応募資格** 東北6県(青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島)在住の高校生、または各県内の高校に在学中の高校生。  
※高等専門学校生は1年生から3年生までとします。同一高校からの応募人数制限は設けません。

**予選課題** 浜田廣介「まぼろしの鳥」全文

(以下は、ハルキ文庫版『浜田廣介童話集』にもとづく。

150頁本文 1行目「ひとりの男が、公園をあるいていました。」から

152頁本文14行目「その目になみだをうかべました。」まで。)

※なお、『浜田廣介全集』(集英社)等、別の本に収録されている本文によっても差し支えありませんが、その場合は、使用した本文の出典データ(書名、発行年、出版社)を応募書類に明記してください。

**審査方法** 山形大学教員からなる予選審査委員会が録音によって審査します。

**応募方法** 上記課題文を朗読・録音し、下記応募受付まで郵送等で送付、あるいは直接持参をお願いします。  
録音メディアは、CD-R/USBメモリーのいずれかとします。メディアには氏名を明記してください。  
メディアは衝撃からの保護を施して、「高校生朗読コンクール応募」と朱書した封筒に入れてください。

**応募締切** 平成28年7月28日(木)(当日必着)

**備考**

●応募の際、以下の項目について記した紙を同封してください。書式は自由です。

①氏名(よみがな) ②性別 ③学校名、学年 ④自宅住所・郵便番号 ⑤自宅電話番号

⑥(高校で取りまとめてご応募の場合)担当教員のお名前と電話・ファクス・電子メールアドレス等

※記載情報は本学からの連絡のみに用い、他用途は転用しません。

●録音の最初に、学校名、学年、氏名を録音してください。

●予選の録音メディアの費用及び送料は自己負担とします。

●予選で大学に送付されたメディアは返却せず、本選後録音を消去します。

●予選は学内の教職員で構成した審査委員会が審査を行い、結果は全応募者に8月末までに自宅に郵送でお知らせします。

(学校でとりまとめて応募いただいた場合は、学校にも結果をお知らせします)

●予選通過者を優秀賞として本選に招待します。なお、予選通過者名は公表します。

●文章中の地名や人名等の固有名詞の難読語等の読み方に限り問合せに応じます。

### ◎ 本選について

**日時** 平成28年10月9日(日) 13:00~17:00(時刻は予定)

**会場** 遊学館(山形県生涯学習センター)ホール(〒990-0041 山形市緑町一丁目2-36)

**課題** 浜田廣介氏の著書から、予選通過者それぞれに異なる部分を審査委員会が指定します。

**備考**

●審査結果通知時にそれぞれの課題部分を指定します。

●作品の内容や量による審査の有利不利は起きないように審査の際に配慮します。

●本選の審査は、学内のメンバーで構成した審査委員会が行います。

●本選の上位3名を山形大学学長賞として表彰します。他に特別賞・会場賞も設けます。

●本選は群読劇『恩讐の彼方に』上演とあわせて催しとして一般公開します(一般入場者応募の詳細は8月末ごろ公表します)。

●出場者の交通費は自己負担とします。

応募・お問合せ先

山形大学 エンrollment・マネジメント部社会連携課 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

Tel:023-628-4016 Fax:023-628-4491 E-mail:embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※電話によるお問合せは平日9:00~17:00をお願いします。



# ☆ 出演者募集 ☆

## 群読劇 『恩讐の彼方に』

申込×切  
**6/15**  
まで

山形大学では、復興に向け東北の力を舞台芸術で結集する取り組みとして一般市民の皆さまと東北を応援する舞台を上演しています。5回目の上演となる今年度は、菊池寛原作の「恩讐の彼方に」を取り上げます。



過去の稽古・本番の様子



**募集人数** 20名(先着順)

**参加資格** 本番と原則として稽古の夜の部に参加可能な方

※年齢や性別、演劇の経験の有無等は問いません。

※稽古・上演に係る経費等の負担を出演者をお願いすることはありませんが、稽古場・劇場への交通費等をご負担下さい。また、出演料等はお支払いいたしません。



### 稽古

会場：山形大学小白川キャンパス

6月22日(水)	夜
7月27日(水)	夜
8月1日(月)	午後・夜
8月2日(火)	午後・夜
9月28日(水)	夜
10月6日(木)	夜
10月7日(金)	夜

### リハーサル

会場：ゆうキャンパス・ステーション

10月8日(土) 午後・夜

### 本番

会場：遊学館(山形県生涯学習センター)ホール

10月9日(日) 13:00~17:00

※第9回山形大学高校生朗読コンクールと同時開催

〈申込先〉 山形大学インクルメント・マゼンタ部社会連携課  
FAX:023-628-4491 TEL: 023-628-4016  
E-mail: embml @jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年度 山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」  
群読劇「恩讐の彼方に」出演申込書

お申し込みの際は、以下に必要事項をご記入の上、E-mailまたはFAXにて申込先までお送りください。

お電話でのお申し込みも受付けます。

ふりがな お名前	性別		年齢
	男・女		歳
ご住所	〒 -		
連絡先電話番号	ご自宅 :	-	-
	携帯電話 :	-	-
F A X		-	-
E-mail		@	

※今回記載して頂いた個人情報は、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。



平成28年5月17日  
山形大学

## 『平成28年度奥の細道マイスター養成講座』について

平成28年度奥の細道マイスター養成講座の概要をお知らせします。  
また、初級（マイスター養成講座）の募集を開始します。

山形大学では平成24年度に「奥の細道マイスター事業」をスタートしました。  
元禄2年（1689年）の芭蕉のみちのくの旅を学んで東北の歴史・文化について語る  
ことのできるボランティアガイドの育成を行いつつ、大震災後の東北の文化による  
ネットワークを構築する取り組みです。

初級・中級・上級の各講座を毎年1回開催します。マイスターを希望される方は初  
級から受講を開始していただきます。初級は山形市山寺、中級は山形県庄内地方、  
上級は宮城県内で実施します。

◎平成28年度の開講予定日と開催地は以下の通りです。

【初級】 7月15日（金）～17日（日）開催地：山形県山形市

会場：山寺芭蕉記念館 ※16日午後に特別講演を予定

【中級】 11月11日（金）～13日（日）開催地：山形県鶴岡市(中心部と羽黒山)

会場：山形大学農学部 ※12日午後に特別講演を予定

【上級】 12月 2日（金）～ 4日（日）開催地：宮城県多賀城市・松島町

会場：多賀城市市民活動サポートセンター

松島文化観光交流館 ※3日午後に特別講演を予定

※ 中級は過去の初級修了者、上級は過去の中級修了者を対象に開講されます。  
ただし、特別講演はどなたでも受講していただけます。

なお、中級・上級の概要・募集方法はそれぞれ後日公表します。

（お問合せ先）

山形大学EM部社会連携課

電話 023-628-4843

## 『平成28年度奥の細道マイスター養成講座（初級）』

### 【概要】

主催：国立大学法人山形大学

共催：山寺芭蕉記念館指定管理者  
公益財団法人 山形市文化振興事業団

会場：山寺芭蕉記念館（JR仙山線山寺駅下車徒歩12分）

募集定員：マイスター養成講座30名（先着順）

特別講演 70名（先着順）

申込方法：マイスター養成講座 払込取扱票に必要事項を記入の上、最寄りの郵便局で受講料を払込ください。

特別講演 受講申込書に記入の上、郵送又はFAX

受講料：マイスター養成講座 2000円（特別講演も含む）

特別講演 500円

日程：平成28年 7月15日（金）～17日（日）

第一日目：7月15日（金）

13:00～13:30 開講式・オリエンテーション  
（マイスター養成講座受講生のみ）

14:00～16:00 現地講座「立石寺見学」  
講師：荒木志伸山形大学准教授

第二日目：7月16日（土）

9:30～10:30 現地講座「山寺芭蕉記念館展示資料解説」  
講師：相原一士山寺芭蕉記念館学芸員

10:45～11:45 実習「古典資料の取扱」  
講師：相原一士山寺芭蕉記念館学芸員  
佐藤琴山形大学講師  
山本陽史山形大学教授

13:00～14:30 特別講演「曾良随行日記から見る奥の細道の旅」  
講師：山本陽史山形大学教授

14:45～15:45 マイスター認定試験準備

第三日目：7月17日（日）

9:30～11:00 講義「芭蕉の生涯」  
講師：山本陽史山形大学教授

11:00～12:00 マイスター認定試験準備

13:00～14:30 認定試験

15:00～15:30 講評・修了式





# 奥の細道 マイスター養成講座

＝平成28年度山形大学公開講座＝

[主催] 国立大学法人 山形大学 [共催] 公益財団法人山形市文化振興事業団



## 講師



山形大学 教授  
山本 陽史

専門分野 ▶ 日本文学



山形大学 准教授  
荒木 志伸

専門分野 ▶ 日本史  
考古学



山形大学 講師  
佐藤 琴

専門分野 ▶ 博物館学  
日本美術史



相原 一士

山寺芭蕉記念館  
学芸員

## アクセス



[初級会場]  
山寺芭蕉記念館  
山形市大字山寺字南院4223

※会場は変更になる場合があります。  
変更する場合は受講決定時にご連絡します。

## (ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはつきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙  
課税相当額以上  
貼付  
印

この場所には、何も記載しないでください。



## 初級受講生募集

芭蕉のみちのくの旅を学んで  
東北の歴史・文化について語れる  
ボランティアガイドを育成します。

初級 マイスターを希望される方は初級から受講を開始していただけます 初級合格後 ▶ 中級(11月/山形県鶴岡市) ▶ 上級(12月/宮城県多賀城市、松島町)

平成28年7月15日(金)～7月17日(日)

会場 ▶ 山寺芭蕉記念館(山形市大字山寺字南院4223)

対象 ▶ 一般市民・大学生・高校生

定員 ▶ 30名

受講料 ▶ 2,000円 ※特別講演も含め、全3日間通しての受講料です。

募集期間 ▶ 平成28年5月9日(月)～平成28年7月8日(金)

- 7/15(金) 開講式、現地講座「山寺立石寺見学」
- 7/16(土) 現地講座「山寺芭蕉記念館展示資料解説」、特別講演、実習「古典資料の取り扱い方」
- 7/17(日) 講義「芭蕉の生涯」、マイスター認定試験、修了式

[お問い合わせ先] 山形大学エンrollment・マネジメント部社会連携課  
TEL:023-628-4016 FAX:023-628-4491 E-mail:embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp





# 奥の細道 マイスター養成講座

＝平成28年度山形大学公開講座＝

## 養成講座概要

山形大学では平成24年度に「奥の細道マイスター事業」をスタートしました。元禄2年(1689年)の芭蕉のみちのくの旅を学んで東北の歴史・文化について語れるボランティアガイドの育成を行いつつ、大震災後の東北の文化によるネットワークを構築する取り組みです。初級・中級・上級の各講座を毎年1回開催しており、初級は山形市山寺、中級は山形県庄内地方、上級は宮城県内で実施いたします。

原則として中級は初級修了者、上級は中級修了者が対象です(特別講演を除く)。また、同一年度の連続受講も可能です。

## 平成28年度 初級

会場 **山寺芭蕉記念館**

受講料:2,000円

- 7月 15(金)** 13:00～13:30 開講式・オリエンテーション  
14:00～16:00 現地講座「山寺立石寺見学」/講師：荒木志伸
- 7月 16(土)** 9:30～10:30 現地講座「山寺芭蕉記念館展示資料解説」/講師：相原一士  
10:45～11:45 実習「古典資料の取り扱い方」/講師：相原一士・佐藤 琴・山本陽史  
13:00～14:30 特別講演「曾良随行日記から見る奥の細道の旅」/講師：山本陽史  
14:45～15:45 マイスター認定試験準備
- 7月 17(日)** 9:30～11:00 講義「芭蕉の生涯」/講師：山本陽史  
11:00～12:00 マイスター認定試験準備  
13:00～14:30 マイスター認定試験  
15:00～15:30 講評・修了式

スペシャルサポーター  
奥の細道マイスターの会メンバー(上級修了者)

マイスターを希望される方は初級から受講を開始していただきます。

## ▼ 初級合格者が受講できる養成講座 ▼

※中級・上級については、現時点での予定であり、初級合格者に別途ご連絡いたします。

## 平成28年度 中級(予定)

会場 **山形大学農学部**(鶴岡市若葉町1-23)

**出羽三山歴史博物館**(鶴岡市羽黒町手向字院主南72)

受講料:6,000円

- 11月 11(金)** 13:30～ 開講式、  
出羽三山歴史博物館と羽黒山参道現地講座
- 11月 12(土)** 9:30～ 講義・実習  
13:00～ [特別講演] 第一部/文学散歩 第二部/講演
- 11月 13(日)** 9:00～ 認定試験準備・試験・合否判定・修了式



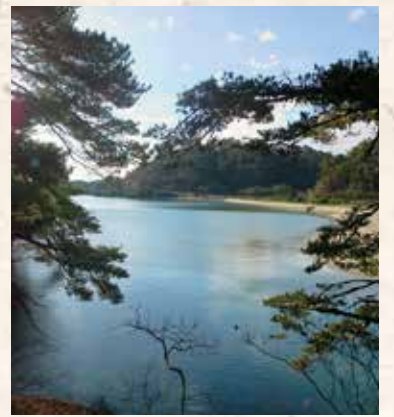
## 平成28年度 上級(予定)

会場 **多賀城市市民活動サポートセンター**(宮城県多賀城市中央2-25-3)

**松島町文化観光交流館**(宮城県宮城郡松島町磯崎字浜1-2)

受講料:6,000円

- 12月 2(金)** 13:00～ 開講式、  
多賀城市内現地講座
- 12月 3(土)** 9:00～ 松島町内現地講座  
13:00～ [特別講演]
- 12月 4(日)** 9:00～ 講座、  
認定試験準備・試験・合否判定・修了式



02 仙台		払 込 取 扱 票				通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号		金額		千 百 十 万 千 百 十 円		2 0 0 0	
0 2 2 6 0 7		9 2 4 7 8					
加入者名	国立大学法人山形大学			料金	備考		
通信欄	<p>「平成28年度山形大学公開講座奥の細道マイスター養成講座 初級」申込書          ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。          ○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方は          ご記入ください。( )          ○年齢をお書きください。( )</p> <p>※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続き          のみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、          今後の公開講座やセミナー等のご案内を本学からお送りする場合がございます。  <input type="checkbox"/>承諾する <input type="checkbox"/>承諾しない (いずれかをチェック願います)</p>						
ご依頼人	おとところ (郵便番号)			日	附 印		
	* おなまえ			料	金		
	(電話番号)			備	考		
	裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)承認番号 仙第8982号)			これより下部には何も記入しないでください。			

ここから切り離してお出しく下さい。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証	
口座記号番号	0 2 2 6 0 7
加入者名	国立大学法人山形大学
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 * 2 0 0 0
ご依頼人	おなまえ
料金	日 附 印
備考	

この受領証は、大切に保管してください。



平成28年度 山形大学 奥の細道マイスター養成事業

# 特別講演

山形大学では、平成24年度から一般市民を対象に、奥の細道についてのボランティアガイドを養成する「奥の細道マイスター講座」を山形・宮城県内で開講しています。

平成28年度のマイスター養成講座（初級）を開講するにあたり、講義の一部を特別講演として広く一般に開放します。

## 曾良随行日記から見る 奥の細道の旅

定員70名  
(先着順)

受講料：500円

日時

平成28年7月16日(土)

13:00~14:30 (受付12:30~)

講師

山形大学教授 山本陽史

会場

山寺芭蕉記念館

(山形市大字山寺字南院4223)

受講料

500円

(当日受付にてお支払ください)

※事前のお申し込みが必要です。

◆ 申込締切：7月8日(金)


◆ 申込方法：裏面受講申込書により郵送またはFAXでお申し込みください。

お問合せ  
お申込み

山形大学エンrollment・マネジメント部社会連携課

(電話) 023-628-4016 (FAX) 023-628-4491

(メール) embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催 国立大学法人 山形大学 

共催 山寺芭蕉記念館指定管理者 公益財団法人 山形市文化振興事業団



〈申込先〉 山形大学EM部社会連携課  
FAX:023-628-4491  
E-mail: embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

## 「平成28年度 奥の細道マイスター養成事業」 特別講演 受講申込書

お申し込みの際は、以下に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXでお申込みください。

申込  
締切

平成28年7月8日（金）

特別講演の受付は、先着順となります。

ふりがな お名前  (年齢)		性別
		男・女
ご住所	〒 -	
連絡先電話番号	ご自宅：( ) - 携帯電話：( ) -	
電子メール（任意）		@
ファックス（任意）		

※今回記載していただいた個人情報は、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。

平成28年5月17日  
山形大学

## テニス東北学生春季トーナメント大会で本学学生が 2連覇を達成しました

宮城県内で開催されたテニスの東北学生春季トーナメント大会女子シングルスで、地域教育文化学部2年の清水 優（しみず ゆう）さんが優勝し、2連覇を達成しました。

### 【概要】

テニスの全日本学生選手権（インカレ）の予選を兼ねた東北学生春季トーナメント大会は4月28日（木）～5月5日（木）に宮城県・泉総合運動場テニスコートほか2会場で開催されました。昨年度優勝の清水優さん（本学地域教育文化学部スポーツ文化コース2年）は第1シードで出場し、5月4日（水）に行われた女子シングルスの決勝で、東北福祉大学の選手と対戦してセットカウント2-0で勝利し、大会2連覇を達成しました。

また、第4シードとして出場したダブルスでは、惜しくも決勝で敗れましたが、準優勝という成績を収めています。

今回の優勝により、清水さんは今夏開催される全日本学生テニス選手権（インカレ）へ2年連続出場が決定しました。なお、山形大学校友会からインカレ出場に係る遠征費補助が支給されます。

（お問合せ先）  
地域教育文化学部事務室  
電話 023-628-4304

平成 28 年 5 月 17 日  
山 形 大 学

## 1. 第4回学長特別講演会シリーズ「山形から世界へ」を開催します

本学の3つの使命「地域創生」、「次世代形成」、「多文化共生」を発信するため、昨年度から開催している学長特別講演会を今年度も引き続き開催します。今回は、「これからの日本経済とイノベーションの必要性～トヨタ・プリウスにみるイノベーションのあり方～」と題して、土井正巳特任教授に講演いただきます。

日時：平成28年6月3日（金）16：30～18：00

会場：小白川キャンパス人文学部1号館301教室

※詳細は別紙「チラシ」をご覧ください。

## 2. 「G7茨城・つくば科学技術大臣会合 特別展」に出展します

G7茨城・つくば科学技術大臣会合に出席する大臣や政府関係者にご覧いただくとともに、日本の最先端の科学技術を、大臣会合終了後に一般公開いたします。山形大学は特別展の「オープンサイエンス」のテーマゾーンに出展し、有機材料システムのオープンイノベーションの世界的な拠点（COI 推進拠点）であること、国際連携の実績、更なる基礎研究から事業化推進までのイノベーション推進にむけて国際連携していることをアピールします。

一般公開：平成28年5月18日（水）～5月21日（土）

時間：10：00～17：00（※21日のみ16：00まで）

会場：つくば国際会議場1階多目的ホール

入場料：無料

主催：内閣府／茨城県／つくば市／G7 茨城・つくば科学技術大臣会合推進協議会

※詳細は別紙「通知資料」をご覧ください。

## 3. 「山形大学安達峰一郎研究プロジェクト」成果報告シンポジウムー世界の良心 安達峰一郎ーについて

山形が生んだ世界的な偉人である安達峰一郎博士を核にした研究の成果報告として、学生のほか、一般市民を対象にシンポジウムを開催します。

日時：平成28年7月2日（土）13：30～16：45

会場：ホテルメトロポリタン山形

対象：学生・一般市民（参加無料）

※詳細は別紙「通知資料」をご覧ください

## 4. クラゲマイスター養成講座(初級)／スライムマイスター養成講座(初級)のご案内

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、地域や家庭で科学の不思議さや面白さを教える講師や補助者になっていただくサイエンス・コミュニケーターとしてマイスターを養成しています。

○クラゲマイスター養成講座（初級）

日時：平成28年6月18日（土）～19日（日）9：10～

場所：鶴岡市立加茂水族館

○スライムマイスター養成講座（初級）

日程：平成28年7月10日（日）、16日（土）、31日（日）または8月6日（土）

場所：山形大学SCITAセンター他

※それぞれの詳細は別紙「チラシ」をご覧ください。

## 5. 公開講座「映画・写真・絵画・文学におけるドキュメンタリーとフィクション」のご案内

日時：平成28年6月2日（木）～23日（木）18：30～20：10

場所：人文学部1号館2階205教室

受講料：2,000円

※詳細は別紙「チラシ」をご覧ください。

## 6. 山形大学都市・地域学研究所15周年記念講演・祝賀会について

日時：平成28年6月26日（日）13：00～

会場：山形グランドホテル

※詳細は別紙「チラシ」をご覧ください。

## 7. 大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」の開催

「大学コンソーシアムやまがた」では、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。

6月は、「月山を学び、地域を知るⅡ」をテーマに、4人の講師が雪をかぶった美しい姿で人々を魅了する月山について、その地形や文化・自然などを横断的に解説します。

※詳細は別紙「チラシ」をご覧ください

## 8. 「こうかいどおうひたくほん広開土王碑拓本」の特集展示を開催します

平成23年に小白川図書館において発見された「広開土王碑拓本」は、4世紀の日本の歴史、又戦前の歴史教育を考える上で貴重な資料であることがわかりました。この度、山形大学附属博物館では、縦536.7cm×横174.6cmの巨大な拓本を最新の研究成果とともに、特別展示いたします。

※詳細は別紙「通知資料」をご覧ください。

第4回

学長特別講演会シリーズ  
「山形から世界へ」



# これからの日本経済と イノベーションの必要性

～トヨタ・プリウスにみるイノベーションのあり方～

日時

2016年

6月3日(金) 16:30-18:00

山形大学小白川キャンパス人文学部1号館301教室

<プログラム>

16:30 開会の挨拶 山形大学長 小山清人  
16:40 講演

ど い ま さ み  
講 師 : 土 井 正 己 氏  
(山形大学特任教授(元トヨタ自動車グローバル広報担当部長))

17:30 対 談 土井氏、小山学長  
18:00 閉 会



【講師プロフィール】

山形大学特任教授。1983年に大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)卒業。2013年末まで、トヨタ自動車に31年間勤務。主に広報分野、グローバル・マーケティング(宣伝)分野で活躍。2000年から2004年までチエコのプラハに駐在。帰国後、グローバル・コミュニケーション室長、広報部担当部長を歴任。2010年のトヨタのグローバル品質問題や2011年の震災対応などいくつもの危機を対応。2013年12月に論文「イノベーション企業経営の在り方」を京都大学学術出版会発行のメルコ管理会計研究に発表。現在、国際コンサルティング・ファームである「クレアブ」で、官公庁や企業のコンサルタント業務にも従事するほか、NGO「ミレニアム・プロミス・ジャパン」の理事も務める。

◆対 象:学生、高校生、一般(定員:210名)

◆お申し込み方法:

住所、氏名(ふりがな)、年齢(学生は大学・学部・学科)、電話番号をご記入の上、メールでお申込みください。

【送信先:koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp】

◆締 切:平成28年6月1日(水)

会場へのアクセス・  
お申込みメールアドレスは  
こちらから

お問い合わせ

山形大学総務部総務課広報室  
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12  
TEL:023-628-4008 FAX:023-628-4013  
URL: <http://www.yamagata-u.ac.jp>





# 山形大学 学長特別講演会 シリーズ 「山形から世界へ」



山形大学では、「地域創生」、「次世代形成」、「多文化共生」の3つを使命として掲げ、改革を推進しています。

「山形から世界に通用する技術やプロダクト・学術研究をどんどん生み出そう。そして、山形を元気にして地域創生につなげよう」というコンセプトを、より広く発信し定着させるため、学生、教職員、高校生、一般市民を対象とした学長主催の特別講演会を定期的を開催しています。

## 第4回講演

### これからの日本経済とイノベーションの必要性 ～トヨタ・プリウスに見るイノベーションのあり方～

土井正己 (山形大学特任教授(元トヨタ自動車グローバル広報担当部長))

#### 【講師よりメッセージ】

世界初の量産ハイブリッド車「プリウス」は、1997年に生まれた。この開発背景から「イノベーション」を生み出す企業の原動力とは何か、そしてそれがビジネスとして成功するにはどういう工程が必要となるのかを説明する。さらには、現在の世界と日本の経済課題から、今後の日本経済の在るべき姿と「イノベーションの役割」を解説する。



#### 事前申込制・先着順(定員210名)

住所、氏名(ふりがな)、年齢(学生は大学・学部・学科)、電話番号をご記入の上、メールでお申込み下さい。

送信先: 山形大学広報室  
[koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

#### 交通・会場ご案内

JR山形駅下車、バスで約10分  
※駐車場がございません。山形大学シャトルバスか公共交通機関をご利用下さい。



平成28年5月17日

山形大学

## 「G7茨城・つくば科学技術大臣会合 特別展」に出展します。

G7茨城・つくば科学技術大臣会合に出席する大臣や政府関係者にご覧いただくとともに、日本の最先端の科学技術を、大臣会合終了後に一般公開いたします。山形大学は特別展の「オープンサイエンス」のテーマゾーンに出展いたします。G7科学技術大臣と政府関係者等にむけて山形大学が有機材料システムのオープンイノベーションの世界的な拠点（COI推進拠点）であること、国際連携の実績、更なる基礎研究から事業化推進までのイノベーション推進にむけて国際連携していることをアピールします。また、一般公開でも有機材料システムのオープンイノベーションの世界的な拠点であることをアピールします。

【名称】G7茨城・つくば科学技術大臣会合特別展

【会場】つくば国際会議場1階多目的ホール

【一般公開】平成28年5月18日（水曜日）～5月21日（土曜日）

【時間】10時00分～17時00分（※21日のみ16時00分まで）

【入場料】無料

【主催】内閣府／茨城県／つくば市／G7茨城・つくば科学技術大臣会合推進協議会

<http://www.pref.ibaraki.jp/g7/j/index/event/exhibition.html>

【山形大学ブース場所・内容】特別展 Aゾーン A-24

山形大学は、有機材料・有機エレクトロニクス分野の6研究センター1実証施設を活用し、Society 5.0達成に向け、COIプログラム（文部科学省、科学技術振興機構）や国際連携（Organic Electronics Saxonyなど）でのオープンイノベーションで、新融合領域「有機材料システム」の社会実装に向けた研究開発を先導しています。そこで開発されたフレキシブル有機EL照明、ヘルスケアデバイス、有機太陽電池、有機ICT、革新的製造法による印刷電子回路シートなどを展示します。

### お問い合わせ先

山形大学 工学部長特別補佐 高橋辰宏教授

電話： 0238-26-3585

携帯電話： 090-7339-4650

**Yamagata University**  
- Leading R&D on Organic Materials and Systems -

Flexible Organic LED Lighting Panels  
Research Center for Organic Electronics

Flexible & Transparent Organic LED Lighting Panels  
Research Center for Organic Electronics

Flexible Organic Solar Cells  
Research Center for Organic Electronics

Transparent Organic Solar Cells  
Frontier Center for Organic Materials

Flexible Printed Electronic Circuits  
Research Center for Green Materials & Advanced Processing

World's Thinnest Printed Electronic Circuits  
Research Center for Green Materials & Advanced Processing

Smart MIRAI House  
Smart MIRAI House

xEV Hide Research Center  
xEV Hide Research Center

Development Center for Battery Device  
Development Center for Battery Device

Innovation Center for Organic Electronics  
Innovation Center for Organic Electronics

Research Center for Green Materials & Advanced Processing  
Research Center for Green Materials & Advanced Processing

#### 日程詳細

- 平成28年5月14日 PRESSプレビュー
- 平成28年5月15日～17日 G7茨城・つくば科学技術大臣会合特別展（会合関係者向け）
- 平成28年5月18日～21日 G7茨城・つくば科学技術大臣会合特別展（一般公開）

#### G7茨城・つくば科学技術大臣会合参加国

日本（議長国）、  
米国、英国、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、EU

#### Society 5.0

2016年1月閣議決定の第5期科学技術基本計画（総合科学技術・イノベーション会議）に記載。世界に先駆けた「超スマート社会」の実現を目指す一連の取組み。





**G7** Science and Technology  
Ministers' Meeting  
**in Tsukuba, Ibaraki**



世界が見た、  
茨城・つくばの  
最先端科学技術を  
体験しよう！

# G7 茨城・つくば科学技術大臣会合 特別展 一般公開 **入場無料**

来場された方に  
特製マスキングテープ  
をプレゼントします  
各日先着 77 名様

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、  
新たな経済・社会 (Society5.0) へ向けた最先端研究に迫る特別展

2016. 5.18(水) - 5.21(土) 10:00-17:00  
(最終日 21 日(土) 16:00 終了)

つくば国際会議場 1F 多目的ホール

主催：内閣府／茨城県／つくば市／G7 茨城・つくば科学技術大臣会合推進協議会



問合せ G7 茨城・つくば科学技術大臣会合推進協議会事務局

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町 978-6 Tel / 029-301-2858  
E-Mail / g7stm@pref.ibaraki.lg.jp

G7 茨城つくば 検索

# G7 茨城・つくば科学技術大臣会合 特別展

G7 茨城・つくば科学技術大臣会合に出席する大臣や政府関係者に向けて開催した展示の一部を、「G7 茨城・つくば科学技術大臣会合 特別展」として大臣会合終了後に一般公開します！！

会場 つくば国際会議場 1F 多目的ホール  
一般公開日時 2016年5月18日(水)～21日(土) 10:00～17:00  
(最終日21日(土)16:00終了)

## 展示テーマ



Society  
5.0

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、新しい社会「Society5.0」。  
必要なもの・こと（サービス）を、『必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供』でき、社会の様々なニーズにきめ細やかに、かつ効率的に対応できる社会「Society5.0」をテーマに、日々研究されているつくばの科学技術の最先端研究を集めました。  
5つのサブテーマ「宇宙・海洋」「災害に対するレジリエンス」「オープンサイエンス」「グローバルヘルス」「農業、気候、土木等」ごとに集められた日本の最先端科学技術がご覧いただけます。

### 「宇宙・海洋」ゾーン

SPACE / OCEAN

温室効果ガス観測技術衛星（GOSAT）模型／  
しんかい6500／深海用プロファイルリングフロート  
「Deep NINJA」等

### 「災害に対するレジリエンス」 ゾーン

RESILIENCE TO AN ACCIDENT

小型移動検査ロボット DIR-3 / IrucaTact 等

### 「オープンサイエンス」 ゾーン

OPEN SCIENCE

ジェットエンジン用超合金タービンブレード 等

### 「グローバルヘルス」ゾーン

GLOBAL HEALTH

ロボットスーツHAL／身体性変換スーツ「CHILDHOOD」  
／自動走行車いす 等

### 「農業／気候／土木等」 ゾーン

AGRICULTURE / THE CLIMATE / ENGINEERING WORKS

光るシルクで作った帯／低炭素型のコンクリート／リグニ  
ンを用いた自動車用部材 等

そのほか

つくば国際戦略総合特区 プロジェクト紹介

大臣会合推進協議会に対する協賛企業・団体の取組紹介 等

※都合により、展示内容を変更する場合がございます。何卒ご了承ください。

## G7 茨城・つくば科学技術大臣会合とは

2016年(平成28年)5月26日(木)～27日(金)に伊勢志摩サミットが三重県志摩市で開催されます。2008年(平成10年)の北海道洞爺湖サミット以来8年ぶりとなる、日本が議長国となる主要国首脳会議です。

この首脳会議に関連して、国内10都市で関係閣僚会合が開催されます。その中の1つ、科学技術大臣会合が茨城県つくば市で開催されることとなりました。サミットという世界最高峰の国際会議に併せて開催される、極めて注目度の高い国際会議であり、世界各国の要人のほか、関係者・メディア等多くの方が本県を訪れることが見込まれています。



平成28年5月17日  
山形大学

## 「山形大学安達峰一郎研究プロジェクト」成果報告シンポジウム —世界の良心 安達峰一郎—

山形が生んだ世界的な偉人である安達峰一郎博士を核にした研究の成果報告として、学生・高校生のほか、一般市民を対象にシンポジウムを開催します。

山形大学では、山形が生んだ世界的な偉人、安達峰一郎博士の業績を正当に評価し、山形県民の誇りとなるよう、平成24年11月に全国の研究者10名によるプロジェクトを立ち上げ、研究を進めております。

このたび、本プロジェクトが最終年度を迎えることとなり、これまでの研究の成果報告として、安達博士の地元である山形においてシンポジウムを開催いたします。

### ◆実施概要

日時：平成28年7月2日（土）13：30～16：45

会場：ホテルメトロポリタン山形

内容：

#### ◎成果報告

1. 「真の『国際人』安達峰一郎が追い求めたもの  
—その苦闘及び功績と現代的意義—  
東北大学理事 植木 俊哉
2. 「安達峰一郎と戦間期ヨーロッパ協調」  
広島大学教授 牧野 雅彦
3. 「安達峰一郎に関する一次史料 —海外における物を中心として—」  
放送大学教授 柳原 正治
4. 「国際連盟における安達峰一郎」  
早稲田大学教授 篠原 初枝

#### ◎パネルディスカッション

テーマ：「戦間期国際秩序と安達峰一郎」

ファシリテータ：山形大学理事 阿部 宏慈

山形大学人文学部教授 北川 忠明

対象：一般・学生・高校生（参加無料）

\* 終了後に参加者による情報交換会を行います。

（お問合せ先）

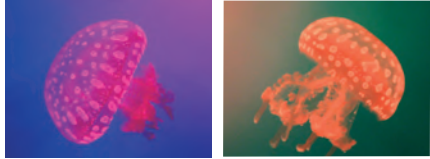
総務部総務課総務担当

電話 023-628-4006

第7期

# クラゲマイスター 養成講座(初級)のご案内

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、地域や家庭で科学の不思議さや面白さを教える講師や補助者になっていただくサイエンス・コミュニケーターとしてマイスターを養成しています。この度、第7期クラゲマイスター養成講座を鶴岡市立加茂水族館の協力を得て、下記のとおり開講します。様々な種類のクラゲについて、その生態や安全な関わり方などを学び、地域のイベントや科学体験教室でクラゲの魅力を発信するボランティア活動をしてみませんか？

日時・場所	講座内容	講師
<b>【1日目】</b>  平成28年 6月18日(土) 9:10~15:40  鶴岡市立加茂水族館 (鶴岡市今泉字大久保657-1)	開講式・やまがた『科学の花咲く』プロジェクトの概要説明	清野 恵一 (コーディネーター)
	自己紹介	
	クラゲに対する安全講座~カギノテクラゲの刺傷被害について~	吉田 宏 (鶴岡市立荘内病院 医師)
	クラゲ学習会「クラゲってなーに？」	鶴岡市立加茂水族館
	加茂水族館のクラゲ展示の歴史	鶴岡市立加茂水族館
<b>【2日目】</b>  6月19日(日) 9:10~16:10  鶴岡市立加茂水族館 (鶴岡市今泉字大久保657-1)	安全講習・クラゲ採取 ※実際に海でクラゲを採取します	上級クラゲマイスター
	有櫛クラゲは現生で最も原始的な多細胞動物なのか？	半澤 直人 (山形大学 学術研究院 教授(理学部担当))
	マイスター活動の報告等	上級クラゲマイスター
	鉢クラゲの生活環と”筋肉”の発達過程	中内 祐二(山形大学 学術研究院 助教(理学部担当))
	光るクラゲの秘密	栗山 恭直(山形大学 学術研究院 教授(理学部担当))
7月31日(日) イオンモール三川 (山形県東田川郡三川町大字 猪子字和田庫128-1) または 9月18日(日) 日本一の芋煮会フェスティバル (馬見ヶ崎河川敷 双月橋付近) ※いずれも9:00~16:00	閉会・受講者の感想・ボランティア活動等についての説明	清野 恵一 (コーディネーター)
	実験指導実施講座 準備および実施指導 イオンモール三川、または日本一の芋煮会フェスティバルの いずれかで、指導者として実施	



- 受講料 / **無料**
- 申込方法 / 裏面受講申込書をご提出ください。
- 応募資格 / 高校生以上
- 締 切 / 平成28年6月3日(金)
- 定 員 / **20名** (応募者多数の場合には抽選となります)

**受講無料  
定員20名**



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター  
 TEL・FAX (023)628-4517  
 E-mail: kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp  
 HP: <http://mirai.scita.jp/~chiiki/> 担当: 清野・伊藤・小幡

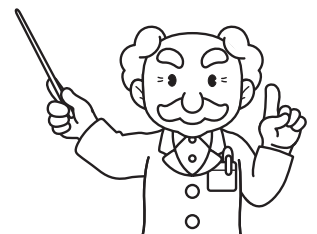
第7期

クラゲマイスター 養成講座(初級)

受講申込書

ふりがな 氏名		(所属機関)	(職名)	住所・連絡先
				〒
生年月日	性別			
大正 昭和 平成	年 月 日			TEL (      )      - FAX (      )      - E-mail
応募動機に関して				

※ 傷害保険（プロジェクト事務局負担）に加入しますので、所属機関・職名がない方でも住所・連絡先は必ずお書きください。



申込  
締切

平成28年6月3日(金)

お  
申  
し  
込  
み  
先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX : (023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://mirai.scita.jp/~chiiki/> 担当: 清野・伊藤・小幡



第12期

# スライムマイスター 養成講座(初級)のご案内

## スライムマイスター養成講座(初級)とは?

スライムに関する化学の知識と小さな子供たちへの指導方法を学び、スライムの楽しみ方をみんなに教えてくれるのがスライムマイスター(初級)です。地域のイベントや、ショッピングモールで指導したり、一緒に遊んだり、地域のボランティアとして活動してみませんか?

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、地域や家庭で科学の不思議や面白さ、科学技術を教える講師や補助者になっていただくためのスライムマイスター養成講座を下記の通り開講します。

講座名	講座内容
化学実験安全講座	一般的に使用している危険物および実験で使用する物質の性質、安全な取扱い等
実験指導講座	子供の発達に合わせた指導法の在り方、注意点
基礎講座	高分子化学の基礎、スライムとは? スライムの作製実験
実験講座	スライム時計、スライム電池、スライム風船、のびーるスライム等の作製実験
実験指導実施講座	準備および実施指導、イベントやショッピングモールで指導者・補助者として実施

月日	時間	講座名
平成28年 7月10日(日)	13:00 ~ 16:20	やまがた『科学の花咲く』プロジェクトについて
		化学実験安全講座
		実験指導講座
		基礎講座
7月16日(土)	13:00 ~ 16:00	実験講座
7月31日(日) または 8月6日(土)	10:00 ~ 15:00	実験指導実施講座 7/31(日)夏だ! 科学実験教室/イオンモール三川 8/6(土) 青少年のための科学の祭典/霞城セントラル

スライムって何だろう?  
ちよつと勉強してみたい!  
ほほかの子どもにも教えてみたい  
という方も大歓迎です!

すべての講座を受講した方は「スライムマイスター(初級)」に認定され、『科学の花咲かせ隊』隊員として活動できます。

**参加無料**  
定員20名

受講  
場所

山形大学小白川キャンパス  
SCITAセンター (山形市小白川町一丁目4-12)  
および霞城セントラル、またはイオンモール三川

- 参加料 / **無料**
- 申込方法 / 裏面受講申込書により申し込んでください。
- 締切 / 平成28年6月24日(金)
- 定員 / **20名** (応募者多数の場合には抽選となります)



お問い合わせ先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

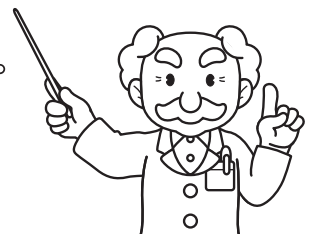
HP : <http://mirai.scita.jp/~chiiki> 担当: 清野・伊藤・小幡

第12期 スライムマイスター 養成講座(初級)

受講申込書

ふりがな 氏 名		(所属機関)	(職名)	住所・連絡先
				〒
生年月日	性別			
大正 昭和 平成	年 月 日			TEL (      )      - FAX (      )      - E-mail
応募動機に関して				

※ 傷害保険（プロジェクト事務局負担）に加入しますので、  
所属機関・職名がない方でも住所・連絡先は必ずお書きください。



申込  
締切

平成 28 年 6 月 24 日 (金)

お申  
し込  
み先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX : (023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://mirai.scita.jp/~chiiki/> 担当: 清野・伊藤・小幡

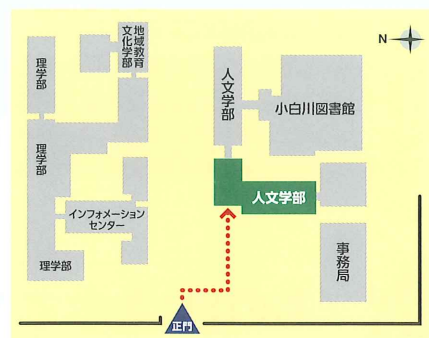


**募集人員** | 一般市民・大学生・高校生 30名  
**募集期間** | 平成28年5月9日(月)～5月31日(火)  
**受講料** | 2,000円(大学生・高校生は無料)

**お申し込み方法** | 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。  
 なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

**お問い合わせ先** | 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室  
 TEL: 023-628-4203 E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

**会場案内** | 山形大学人文学部1号館2階 205教室  
 大学正門を入って正面の建物です。受付は人文学部玄関にて行います。



**その他** | 【公共交通機関ご利用のお願い】  
 現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関、または本学シャトルバス(山形駅～小白川循環・料金100円)のご利用をお願いいたします。

**シャトルバス運行時刻表**

<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/life/etc/bus> 参照

なお、山形駅行き最終便は18:40発となっております。  
 また、山交バス県庁前→山形駅前行きの最終便は、南高前バス停19:42発、山形～仙台間高速・都市間バス山形駅行き最終便は、南高前バス停23:24発です。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

**ご注意**  
 この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。



この講座はゆとり郡カレッジに参加しています。

平成28年度山形大学公開講座 「人文学部」



平成28年度  
 山形大学公開講座 [人文学部]



山形大学人文学部附属映像文化研究所 共催

映画・写真・絵画・文学における

# ドキュメンタリー と フィクション

Documentary と Fiction

平成28年 6月2日(木)～23日(木)

講義時間/毎回 午後6時30分～8時10分【計5回】

【場 所】 山形大学人文学部1号館2階 205教室

【対 象】 一般市民・大学生・高校生 定員30名

【受講料】 一般 2,000円 **大学生・高校生 無料**

【募集期間】 平成28年5月9日(月)～5月31日(火)

〈お問い合わせ先〉 山形大学人文学部事務室

電話: 023-628-4203

E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

- 第1回 6/2 [木] **ドキュメンタリーとしての写真**  
 人文学部准教授 石澤 靖典
- 第2回 6/6 [月] **記録される死、再現される生**  
 —現代映画における生と死の表象  
 人文学部准教授 大久保 清朗
- 第3回 6/13 [月] **フィクションの書き方 —ジャリの場合**  
 人文学部講師 合田 陽祐
- 第4回 6/20 [月] **まこととうそ**  
 —17世紀オランダ絵画の写実とは  
 山形大学人文学部附属映像文化研究所 元木 幸一
- 第5回 6/23 [木] **〈あの世〉をみてきた人びとの話**  
 —近世仏教説話における極楽の諸相  
 人文学部准教授 宮腰 直人



# Documentary & Fiction ドキュメンタリーとフィクション

## 講座の概要

山形大学人文学部では平成26年度から映像文化研究所を立ち上げ、山形から世界へ映像文化の意義を発信しています。本講座では、映像文化に関わるもっとも本質的な、映像の真実性・写実性の問題について考えてみたいと思います。記録映画は、本当に事実を「記録」しているのでしょうか。写真は現実をそのまま「写している」のでしょうか。その場合の「事実」や「現実」とは、いったい何のことなのでしょう？

このような問いは、実は、美術史や文学史においても追究されてきたものです。映像における「ドキュメンタリーとフィクション」の問題に迫るために、絵画や文学における「ドキュメンタリーとフィクション」についても考えてみましょう。多様な専門家の研究集団である映像文化研究所が、映像文化の本質を解き明かします。

第1回

6/2  
[木]

## ドキュメンタリーとしての写真

人文学部准教授 石澤 靖典



リアルな絵画を見て「まるで写真のようだ」ということがあります。一般的に写真は、現実の事物をありのまま記録する点に大きな特徴があると考えられているのです。しかし写真のイメージは、果たして本当に現実そのままといえるのでしょうか。また絵画や映画のような他のメディアと写真とでは、記録としてのあり方に違いはあるのでしょうか。ドキュメンタリー写真と呼ばれるジャンルを中心に、現実と虚構の境界を探ってみましょう。

第2回

6/6  
[月]

## 記録される死、再現される生 —現代映画における生と死の表象

人文学部准教授 大久保 清朗



映画の映像は、カメラが写しとった瞬間から現実から切りはなされていく。そして現前と不在との中間地帯ともいうべき曖昧な領域へと漂い始める。現代映画において、もはやドキュメンタリーとフィクションという区分は無効化しつつある。むしろ問うべきは虚構と現実との対立ではなく生と死という、もっとも根源的な存在様態の表象だ。『ある朝の思い出』、『四つのいのち』、『割れたガラス』などをもとに、映画の生と死を考える。

第3回

6/13  
[月]

## フィクションの書き方 —ジャリの場合

人文学部講師 合田 陽祐



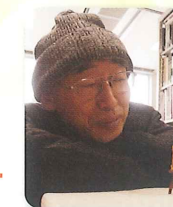
突出した才能があるだけでなく、想像力にも乏しい芸術家は、どうすれば生き残れるのでしょうか。この切実な問題を、フランスの作家アルフレッド・ジャリのケースを例に考えてみましょう。たとえば小説を書き、身の回りのものをとにかく何でも利用するという手があります。けれどそのとき、対象をそのまま用いたり描写したりするのは能がありません。ポイントは、現実をどのように加工して作品に取り込むかです。ジャリの意外なやり方を検討してみましょう。

第4回

6/20  
[月]

## まことどうそ —17世紀オランダ絵画の写実とは

山形大学人文学部附属映像文化研究所 元木 幸一



フェルメールの描く《ミルクを注ぐ女》をご存知ですか。ミルク、パン、陶器などの質感は本当に見事に、つまり本物そっくりに描かれていますね。17世紀オランダのレンブラントも、そして風景画の巨匠ロースダールも、いずれも劣らず本物そっくりといえるかもしれません。ですが、彼らは本物を単にそのまま描いたのでしょうか。あるいは、そっくりというのはどのように描くことなのでしょう。オランダ絵画の写実性の謎を解明したいと思います。

第5回

6/23  
[木]

## 〈あの世〉をみてきた人びとの話 —近世仏教説話における極楽の諸相

人文学部准教授 宮腰 直人



日本古典文学には、何らかの理由で〈あの世〉へ行ってきた人が蘇り、その様子を語るという、地獄極楽遍歴譚という物語の一群があります。今回は、東北を舞台とする近世仏教説話を出发点にして、文学における〈ドキュメンタリー〉と〈フィクション〉の問題を取り上げます。東北の人びとは、どんな思いで極楽や地獄を見聞してきた人の話を受け入れ、語り継いだのでしょうか。怖くも、懐かしい近世仏教説話とその視覚文化の魅力を探ります。

02		払込取扱票				通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号						金額	
0 2 2 6 0 7						9 2 4 7 8	
加入者名						料 金	
国立大学法人山形大学						2 0 0 0	
※「映画・写真・絵画・文学におけるドキュメンタリーとフィクション」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部) ○職業をお書きください。( ) ○年齢をお書きください。( ) ※払い込み済みの受講料は返金できませんのでご注意ください。 ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー棟のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います)							
おとところ (郵便番号)						日 附 印	
おなまえ						料 金	
(電話番号)						備 考	
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)							
これより下部には何も記入しないでください。							

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。  
 ここから切り離してお出しください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。  
 切り取らないでお出しください。

振替払込請求書兼受領証	
口座番号	0 2 2 6 0 7
加入者名	国立大学法人山形大学
金額	2 0 0 0
おなまえ	
依頼人	様
料 金	日 附 印
備 考	



山形大学都市・地域学研究所

15周年

# 記念講演会・祝賀会



2016年6月26日(日)

山形グランドホテル



◇ 記念講演会 ◇

澤田裕治 都市・地域学研究所 顧問

「安達峰一郎と『都市研』15年」 13:00～14:40

松尾剛次 都市・地域学研究所 所長

「最上義光をめぐる」 14:50～16:10

15周年祝賀会 16:30～

費用：8,000円（講演会のみは1,000円）

お申込・問合せ

山形大学都市・地域学研究所

023-628-4871 (FAX 共) [kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp)



# やまがた夜話

## テーマ「月山を学び、地域を知るⅡ」

雪をかぶった美しい姿で、人々を魅了する月山。登ったことがある方も少なくないでしょう。その地形や文化・自然などを横断的に学ぶことが、自分たちが暮らす地域の成り立ちをより深く知り、これからを考えることにつながる。

ー 引続きそんな思いで話すシリーズ第2弾です。

6月 1日(水) 『月山の雪』  
18:30～19:30 講師:阿部 修 氏(防災科学技術研究所・博士(学術))

6月 8日(水) 『月山ブナの森』  
18:30～19:30 講師:児玉 勝義 氏(月山マイスター)

6月15日(水) 『江戸絵画に見る出羽三山』  
18:30～19:30 講師:佐藤 琴 氏(山形大学基盤教育院・講師)

6月22日(水) 『ジオパークと地域振興』  
18:30～19:30 講師:橋本 智雄 氏(月山マイスター)

(写真:月山マイスター 田中秀樹さん 撮影)

会場 ゆうキャンパス・ステーション  
(山形むらさきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分

対象 高校生・学生・一般市民

お申し込み 電話又はチラシ裏面の参加  
申込書に必要事項を記入の  
上Fax, 郵送、メール等でお  
申し込みください。

**入場無料** 定員:50名



主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み・お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階  
Tel:023-628-4842 FAX:023-628-4820  
E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



大学コンソーシアムやまがた





FAX:023-628-4820

## 大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 <input type="checkbox"/> 平成28年 6月 1日(水) 講師: 阿部 修 氏 <input type="checkbox"/> 平成28年 6月 8日(水) 講師: 児玉 勝義 氏 <input type="checkbox"/> 平成28年 6月 15日(水) 講師: 佐藤 琴 氏 <input type="checkbox"/> 平成28年 6月 22日(水) 講師: 橋本 智雄 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	

・受講申込者が定員を超えた場合は、入場をお断りさせていただく場合がございます。

・この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

### 【お申込み・お問合せ先】

#### 大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年5月17日

山形大学

## 「こうかいとおうひたくほん広開土王碑拓本」の特集展示を開催します

平成23年に小白川図書館において発見された「広開土王碑拓本」は、4世紀の日本の歴史、又戦前の歴史教育を考える上で貴重な資料であることがわかりました。この度、山形大学附属博物館では、縦536.7cm×横174.6cmの巨大な拓本を最新の研究成果とともに、特別展示いたします。

5月28日（土）山形大学において開催される第六十五回東北中国学会大会に合わせ、山形大学附属博物館で特別展示を開催します。

また、関連行事として5月20日（金）に国立歴史民俗博物館准教授の三上喜孝氏をお招きしてミニ講演会「広開土王碑拓本の研究最前線」を開催します。

なお、5月28日（土）は臨時開館します。学会参加者および地域の皆様のご来館をお待ちしております。

### 【実施概要】

主催 山形大学附属博物館

協力 小白川図書館

日時 平成28年5月20日（金）～6月20日（月）

開館時間 9時30分～17時

休館日 毎週土・日・祝日

※但し5月28日（土）は臨時開館（11時～17時）

### 【関連行事】

ミニ講演会「広開土王碑拓本の研究最前線」

日時 平成28年5月20日（金）16時30分～17時30分

場所 人文学部1階101教室

講師 三上 喜孝（国立歴史民俗博物館准教授）

事前申込不要・参加費無料

当日は18時まで延長開館

### （お問合せ先）

山形大学附属博物館

電話 023-628-4930

E-mail: hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# 山形大学附属博物館 特集展示

小白川図書館所蔵

# 「広開土王碑拓本」

全長約  
5メートル!

展示期間 平成28年5月20日(金)～6月20日(月)

開館時間 9時30分～17時

休館日 毎週土・日・祝日

※但し5月20日(金)はミニ講演会に合わせて18時閉館

※但し5月28日(土)は臨時開館(11時～17時)

《ミニ講演会》

「広開土王碑拓本の研究最前線」

日時：平成28年5月20日(金)

16時30分から17時30分

場所：人文学部1号館1階

101教室

講師：三上 喜孝

(国立歴史民俗博物館准教授)

事前申し込み不要・参加費無料

問い合わせ

山形大学附属博物館

〒990-8560

山形県山形市小白川町 1-4-12

人文学部1号館1階

TEL 023-628-4930

FAX 023-628-4668



# 第六十五回 東北中国学会 大会 公開講演

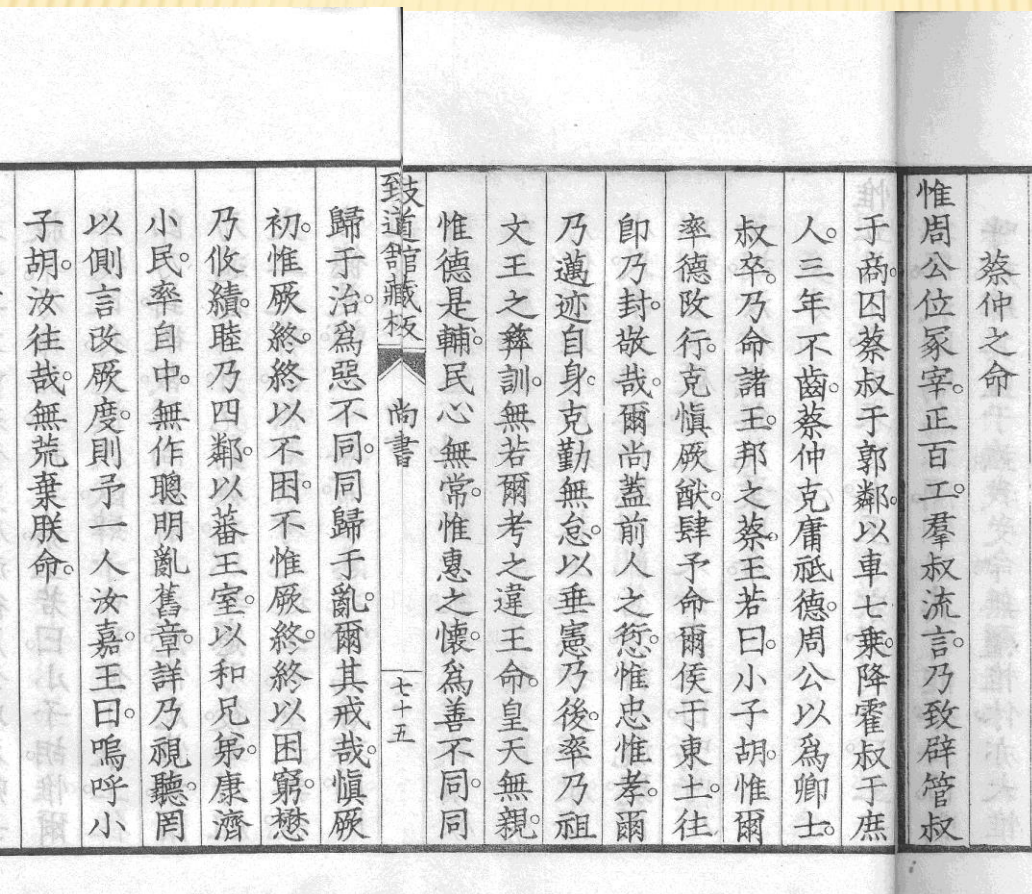
## 父の罪悪・汚名を掩蓋(カバー)する

— 西晋の太常博士秦秀によせて —

東北大学名誉教授

安田 二郎

日時 5月28日(土) 14時30分より  
会場 山形大学人文学部1号館 301教室  
主催 東北中国学会・漢字文化振興協会  
後援 山形大学人文学部後援会



図版：鶴岡致道館蔵版木版漢籍復刊『尚書』蔡仲之命 より © aramiya2016

山形大学附属博物館では、当大会の開催にあわせて本学所蔵の「広開土王碑拓本」の展示を行います(入場無料)。この機会に、ぜひご来場ください。

5月28日(土)の開館時間 11:00~17:00

問い合わせ先

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部内  
東北中国学会山形支部 新宮研究室 TEL 023-628-4239

<https://sites.google.com/site/dongbeizhongguoxuehui/next>